

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 アレルギー膠原病科 野村 篤史

【研究責任者】

聖路加国際病院 アレルギー膠原病科 野村 篤史

真菌感染予防のために

ST 合剤（一般名：スルファメトキサゾール・トリメトプリム、商品名：バクタ、ダイフェン等）

を処方された方を対象とした臨床的特徴に関する研究

1.研究の対象

2004年1月から2018年9月までに当院に通院され、真菌感染予防のためにST合剤を処方された患者さん

2.研究の目的・方法

ST合剤内服による腎機能や電解質の影響をみる研究です。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 年齢、性別、病歴、背景疾患、カルテ番号、血液検査、尿検査

《試料》 なし

4.外部への試料・情報の提供

該当なし